

● 地域提案型

平成22年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	インドネシア
2. 事業名	インドネシア・スラバヤ市における分散型排水処理施設整備事業
3. 事業の背景と必要性	スラバヤ市はマス川沿い・河口部の低地に発達した都市で、生活排水がたまと悪臭を発生するドブ川となってしまう。河川水質の改善には流域における面的な下水道整備が必要だが、スラバヤ市はそれを建設・維持管理するだけのレベルに達していないことから、より現地に適した河川水質改善・分散型排水処理施設の整備、維持管理に係る能力向上が求められている。
4. プロジェクト目標	Jambangan地区を中心とする支川流域において、排水管理に関するマスタープラン策定および住民管理による分散型排水処理によって、同流域の河川水質を改善する。
5. 対象地域	Jambangan地区
6. 受益者層（人数規模）	Jambangan地区住民
7. 活動及び期待される成果	<p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開発計画局及び環境局が、排水処理計画、運営維持管理の能力を取得する。</li> <li>2. 公共事業局が、排水処理施設の設計・施行技術を取得する。</li> <li>3. 対象地区の住民代表や市場の管理組合が、排水処理施設の維持管理・運営を実施できるようになる。</li> <li>4. 対象地区や市場周囲の開水路の水質が改善する。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <p>排水処理マスタープラン策定、中規模排水処理施設を設計するための設計や建設に関する指導、セミナー開催および研修員受入</p>
8. 実施期間	2012年2月～2014年3月
9. 事業費概算額	約20,000千円
10. 事業の実施体制	(財)北九州国際技術協力協会 を中心に (財)地球環境戦略研究機関 および北九州市環境国際戦略室 が共同実施するもの。先方カウンターパートは、スラバヤ市開発計画局（BAPPEKO）
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体）	北九州市
2. 対象国との関係、協力実績	北九州市とスラバヤ市はアジア環境協力都市ネットワークによるつながりを持ち、2000年より廃棄物基礎調査を開始スラバヤ市の開発計画局、環境局、美化公園局等の10名以上の職員が北九州市にて研修実施。